

事務事業名	美術活動推進事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	1	終了	
H27担当課等名	美術博物館		H27係等名	学芸係		H26係等名	学芸係					
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			施策	27	文化芸術の振興				
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民					対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1 美術創作活動を通して、豊かな発想と想像力を育てる						圏域の3年生以上の児童数(人)		6458		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	子ども美術学校に参加した児童数(人)			90	122	109	120				
	成果指標	作品展の展示点数			840	843	800	800				
定性目標												
事業概要	小学校3年～6年生の児童を対象に「子ども美術学校」を開催し、さまざまな造形体験を通して創造の楽しさにふれる機会を提供する。また制作を通して、自分を豊かに表現する能力を身につける。											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1 子ども美術学校 年8回 30人学級 4クラス 2 子ども美術学校作品展を市民ギャラリーで開催する					1 授業数 2 作品展の作品数			1 32回 2 840点			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		1,474	1,387	1,386	1,376	26(そ)諸収入(講座費用)						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他			110	121	105							
一般財源		1,474	1,277	1,265	1,271							
人件費計(千円)②		1,373		0								
正規職員所要時間		384										
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		2,847	1,387	1,386	1,376							
事業内容・目標達成状況の振り返り	参加希望者が大幅に増加したため、クラス数を平成23年度2クラスから25年度4クラスに、授業数も7回から8回に増やして実施した。平成26年度も4クラスで実施した。											
改革改善の考え方	①問題点	子ども美術学校への参加希望者が増加しており、受け入れを断念するケースが発生している。										
	②改革提案	4クラスを定数とする。										